

大学生の取り組み

地域の高齢者を助ける「福祉除雪プロジェクト」

市内の大学では、高齢者の家の雪かきなどを行う取り組みが広がっています。東海大学では、平成20年から活動を開始し、約90人の学生が参加しています。

【取り組みの流れ】

1 高齢者などからの依頼が、大学を通じて、学生にメールで届きます。学生は、授業後に学校のバスで移動します。



2 依頼者の要望通りに家の周辺や間口などを除雪します。道具は大学や市が援助しています。



地域の高齢者と関わりたいと思い、参加しました。授業後の作業が多く、体力的にきつい時もありますが、笑顔で見送ってくれる方の姿を見ると、疲れも忘れます。こうした活動が広がり、多くの学生が参加してくれるとうれしいですね。



福祉除雪プロジェクトに携わる大学生 大原 郁実さん

作業終了!



▲雪下ろしは主に男子が担当。授業後は暗く危険なので、土日の日中などに行っています



小学生の取り組み

滑りづらい道をつくる「砂まきボランティア」

児童が、滑りやすくなっている通学路に滑り止めの砂をまく活動です。今年3月に中央区内の6つの小学校(大倉山・日新・緑丘・宮の森・円山・盤渓)で行われました。

【取り組みの流れ】

1 高齢者福祉施設の入居者などがボランティアで作った砂入りペットボトルが、小学校に届けられます。



2 児童が砂入りペットボトルで砂をまきながら帰ります。



こうした取り組みが札幌の冬の暮らしを支えているんだな!



みんなの力で冬の暮らしをより良いものに

市だけではなく、町内会や学生など、市民の皆さんの力が私たちの冬の暮らしを支えています。これからもみんなで協力し、雪と上手に付き合いながら、冬の暮らしをより良いものにしていきましょう。

除雪ボランティアを募集

高齢者や重度身体障がい者の家の玄関前などを除雪する個人・団体・企業を随時募集しています。ぜひ参加してみませんか。

問い合わせ 市社会福祉協議会(中央区大通西19社会福祉総合センター内) ☎614-3344



市が行う冬の取り組みに関する情報はホームページでもご覧になれます。

札幌 雪対策

検索